

～新渡戸記念の～

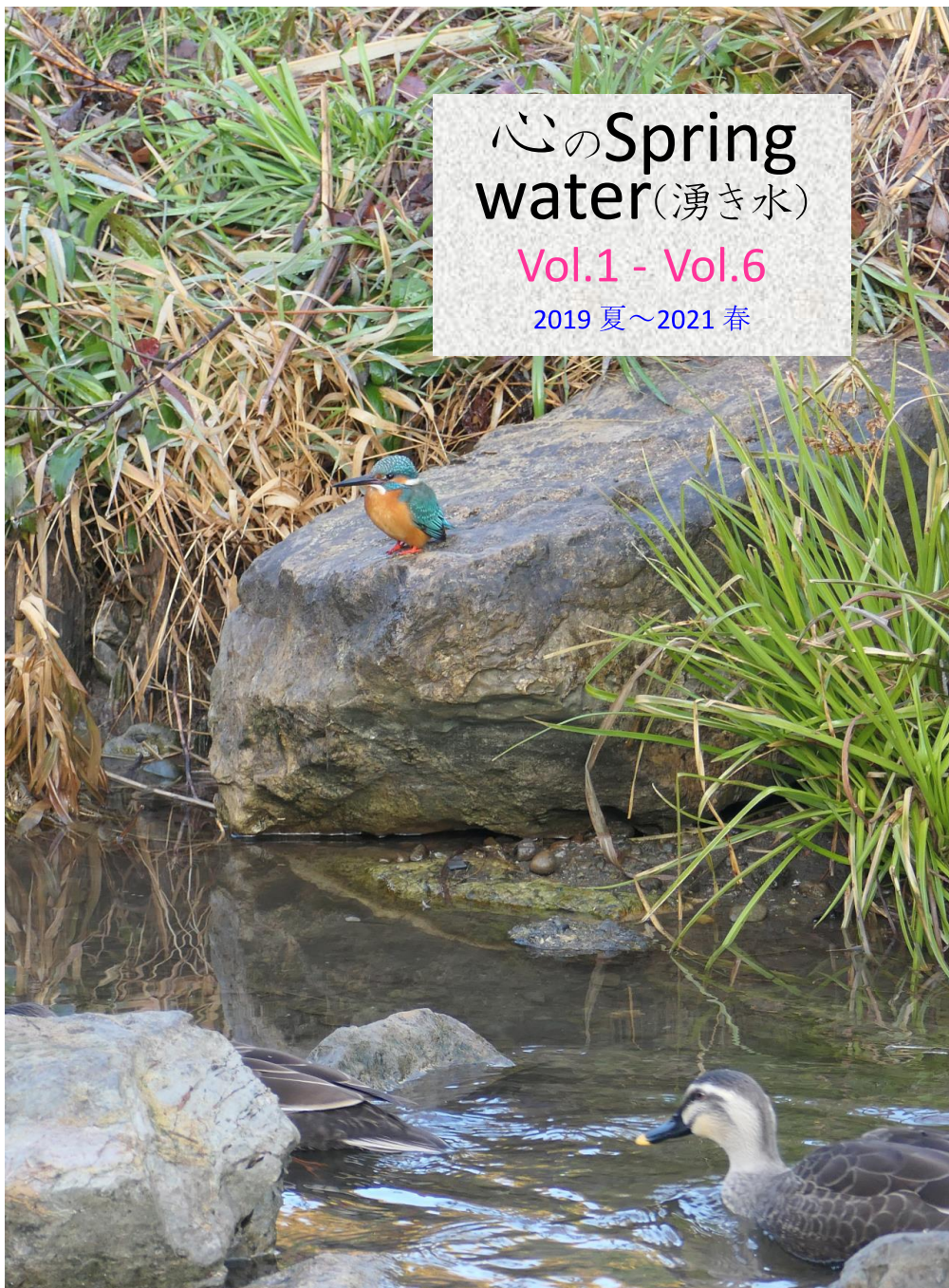
『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第52回『「役割・使命」の発動 ～ 「人生の version up」 ～』

日曜日(2021年4月11日)は、定例の「東久留米がん哲学外来・カフェ」(2008年から)→「読書会」(2007年から)に赴いた。「読書会」は、内村鑑三著『代表的日本人』と新渡戸稲造著『武士道』を隔月毎に行っている「音読会」である。今回は、『武士道 第3章:義』であった。「東久留米がん哲学外来・カフェ」では、『心のSpring Water(湧き水)Vol.1-Vol.6』(編集長:猪口由紀子)が、配布された(画像)。「本物の強さ & ブレない人物」の育成となろう!文章は、日本語と英語に訳されており、全世界に発信される予感がする。世界的大事業である。丁度、日本時間4月11日に、「メディカルカフェ☆南カリフォルニア第1回オンラインお茶会」が開催され『一涙あり、有益な情報交換あり、必要とされていた人脈を見つける方ありのとても濃厚で有意義な時間を過ごすことができました。樋野先生の「言葉の処方箋」からいくつかをシェアしながら参加者の皆さんに感じ取っていただくことができました。—何事にも「仲間がいること」「つながること」の大切さを改めて実感するとともに、みなさんのように継続していく力の大切さが身にしみています。』との連絡が入った。大いに感動した。

2021年4月2日は、『井の頭恩賜公園の旅』であった。参加者全員の原稿が集まり、読書会の参加されていた、大弥佳寿子氏が、『井の頭恩賜公園の旅』ニュースレターを製作中であるとのことである。4月18日は、『多磨霊園の旅』を企画されている。多磨霊園には、読書会の著作人物である内村鑑三(1861-1930)、新渡戸稲造(1862-1933)の墓もある。森尚子氏が編集を担当され、ニュースレターを作製されるとのことである。タイミングよく、「角田夫妻の還暦」お祝い会も企画されるようである。「人生の version up」となろう!想えば、「東久留米がん哲学外来・カフェ」&「読書会」メンバーによって、『「樋野動物園」1周年記念誌 個性と多様性』(2020年10月13日発行)、『上野動物園の旅』(2021年1月15日発行)が発行されている。これこそ、「冗談を本気とする胆力」の実践で、まさに、「役割・使命」の発動である!



心のSpring
water(湧き水)

Vol.1 - Vol.6

2019 夏～2021 春

東久留米がん哲学外来 in メディカル・カフェ